

とろく 「宮崎の土呂久公害に学ぶ」講演会 ～佐伯と土呂久の歴史から未来を見つめる～

宮崎県の高千穂町で公害病が発生したことをご存じですか？
大分県境に近い静かな山あいでも公害が発生し、緑が消え、住民が苦しんだ歴史があります。

土呂久公害の次代への伝承を大分県佐伯市で研究している岩佐礼子氏に、土呂久における環境教育と地域づくりの可能性について、佐伯とのつながりも交えてご講演いただきます。

講師 **岩佐 礼子氏** (あまべ文化研究所 代表)

【プロフィール】

明治学院大学卒業後、外資系企業で5年間勤務。その後、スイスのジュネーブ大学で開発学を学び、ユニセフ職員として約15年間、アフリカ・アジア諸国の緊急人道支援に携わる。退職後、東京大学で環境教育や地域の内発的発展論を研究(環境学博士号取得)。東京大学客員共同研究員を経て、土呂久公害の次代への伝承について研究を行い、現在は、大分県佐伯市のあまべ文化研究所代表として、地域づくり活動などを実践している。



日時

令和4年8月27日(土)

午後2時～4時(開場:1時30分)

会場

宮崎県立図書館 2階視聴覚室

(宮崎市船塚3-210-1)

参加費 無料 定員 40名(申込順)

申込期限 令和4年8月26日(金)

電話・FAX・メールで下記連絡先まで
お申込みください。(メール申込の方は
下記QRコードを読み取ってください)

講演会申込書

(氏名)	(連絡先)

※講演会では新型コロナウイルスの感染対策を実施いたします。※マスクを着用の上、ご来場ください。

宮崎県環境管理課 担当: 兒玉、日高
E-mail: kankyokanri@pref.miyazaki.lg.jp
電話: 0985-26-7082 FAX: 0985-38-6210



図書館1階ギャラリーでパネル展も同時開催中
8月17日(水)～8月28日(日)